

平成 28 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 筒井 公久
 社 長
 (コード番号 6417 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 常務執行役員 大島 洋子
 管理本部長
 (TEL. 03-5778-7777)

平成 29 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

[平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正]

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	135,000	16,000	16,800	11,100	137.00
今回修正予想 (B)	90,000	3,000	4,000	2,500	30.86
増減額 (B - A)	△45,000	△13,000	△12,800	△8,600	—
増減率 (%)	△33.3	△81.3	△76.2	△77.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	137,130	18,826	19,965	10,485	126.78

[修正の理由]

当パチンコ・パチスロ業界におきましては平成 28 年 12 月末を期限として「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の市場からの回収・撤去を進めておりますが、回収・撤去対象機種数の過半数を占める著名コンテンツとのタイアップシリーズの続編への入替が動きの中心となり、当社グループでは 12 月に投入予定の「エヴァンゲリオン～いま、目覚めの時～」の受注が順調に推移しております。しかしながら、それらを除くとパチンコパーラーの新台への投資姿勢は慎重さを増しております。また、パチスロにおきましても、「新基準に該当しない回胴式遊技機」の設置比率を順次下げていく取り組みが進められ、一定の進捗がみられるものの、固定ファンの多い旧基準機の撤去機運が盛り上がりにくい状況にあります。当社グループではこうした市場環境や第 2 四半期までの販売状況等を踏まえて第 3 四半期以降の販売計画を厳しく見直し、業績予想を見直すことといたしました。これにより、パチンコ機の予想販売台数は 297 千台から 195 千台、パチスロ機の予想販売台数は 80 千台から 39 千台となります。

なお、期末配当につきましては当初予想の1株当たり75円（年間配当150円）を変更する予定はございません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上